

いばらきネットモニター 家計状況に関するアンケート

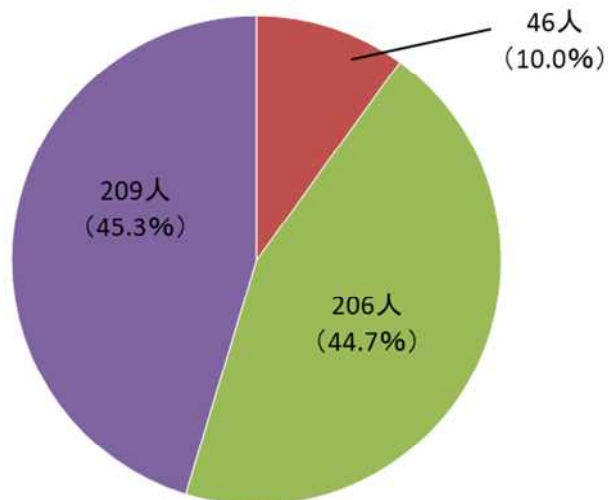
1 調査目的

このアンケートは、新型コロナウイルス感染症による家計状況への影響を調査するとともに、新たな統計指標を検討するために実施するものです。

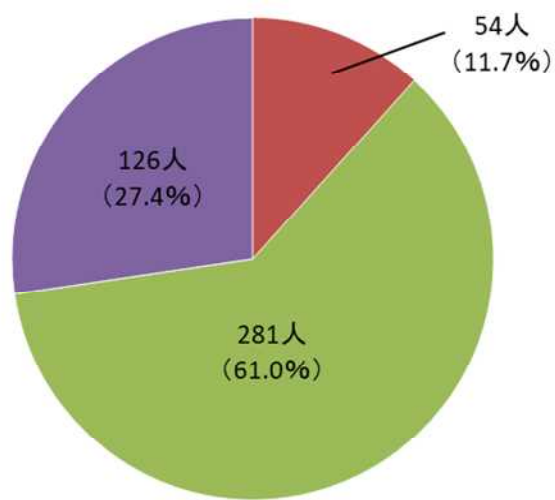
2 結果の概要

2020年11月の家計状況は、次のとおりでした。(回答者461人)

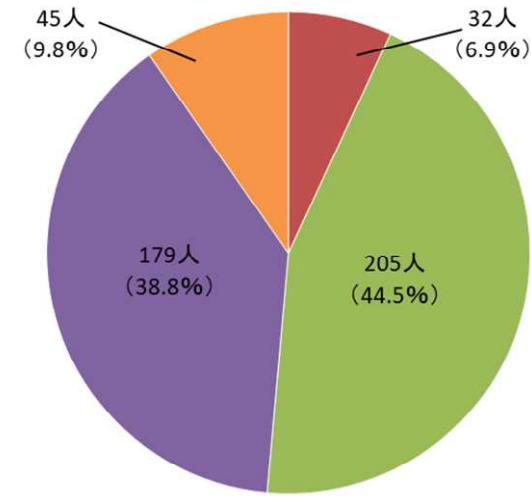
2019年11月頃と比較して



緊急事態宣言下(2020年4~5月頃)と比較して



3か月後の予測

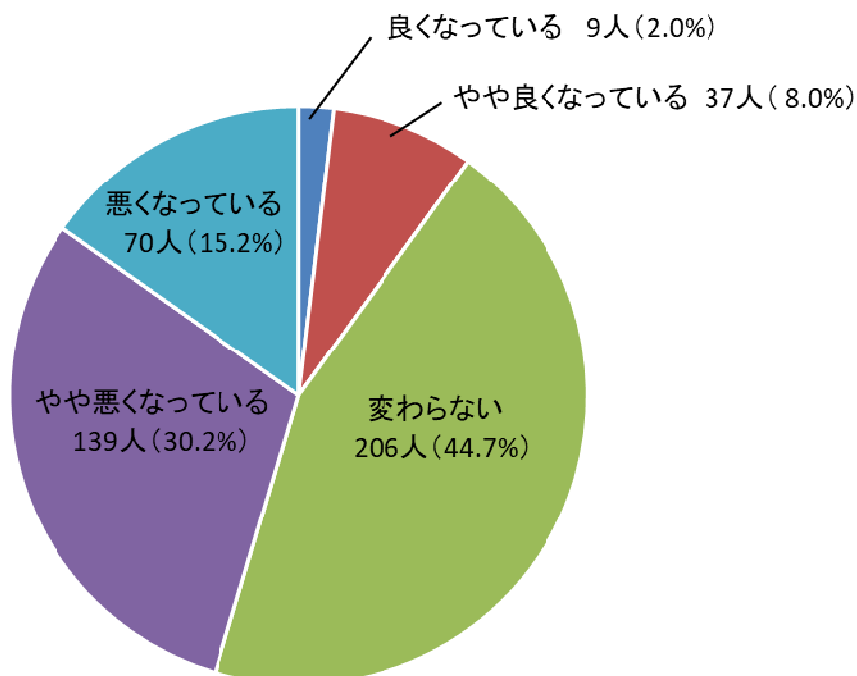


■ 良くなっている、やや良くなっている ■ 変わらない ■ 悪くなっている、やや悪くなっている ■ 分からない

- ・新型コロナウイルス感染症流行前(2019年11月頃)と現在(2020年11月)を比較すると、家計状況が「悪くなっている」及び「やや悪くなっている」と回答された方が45.3%、「変わらない」と回答された方が44.7%で、ほぼ同数となった。
- ・緊急事態宣言下(2020年4月~5月頃)と現在(2020年11月)を比較すると、家計状況は「変わらない」と回答された方が過半数を超えた(61.0%)。
- ・3か月後の予測と現在(2020年11月)を比較すると、家計状況は「変わらない」と回答された方が44.5%、「悪くなっている」及び「やや悪くなっている」と回答された方が38.8%となった。

【問1】

現在の家計の状況についてお伺いします。昨年の11月頃と比較して、今月の家計の状況は良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。



職業別の回答 整数は人数、()内は職業別の回答数に対する割合						
	回答数	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
自営業	36	1 (2.8%)	1 (2.8%)	10 (27.8%)	9 (25.0%)	15 (41.7%)
会社員	154	6 (3.9%)	14 (9.1%)	69 (44.8%)	39 (25.3%)	26 (16.9%)
団体職員	19	0 (0.0%)	1 (5.3%)	9 (47.4%)	7 (36.8%)	2 (10.5%)
公務員	15	0 (0.0%)	3 (20.0%)	7 (46.7%)	5 (33.3%)	0 (0.0%)
主婦・主夫	111	1 (0.9%)	9 (8.1%)	51 (45.9%)	42 (37.8%)	8 (7.2%)
学生	18	0 (0.0%)	2 (11.1%)	5 (27.8%)	9 (50.0%)	2 (11.1%)
無職	58	0 (0.0%)	4 (6.9%)	33 (56.9%)	13 (22.4%)	8 (13.8%)
その他	50	1 (2.0%)	3 (6.0%)	22 (44.0%)	15 (30.0%)	9 (18.0%)
計	461	9 (2.0%)	37 (8.0%)	206 (44.7%)	139 (30.2%)	70 (15.2%)

【問2】

問1でそのように回答した理由は何ですか。

○「良くなっている、やや良くなっている」を選択（実人数 46 人）

（主な回答）

- ・リモートワーク中心になり外食が減ったため、その分家計が助かっている印象。
- ・コロナに関する給付金等で家計の貯蓄が増えた。

（理由別の延べ人数）

- ・収入が増加した...27 人
- ・支出が減少した...18 人
- ・その他...5 人

○「変わらない」を選択（実人数 206 人）

（主な回答）

- ・会社がコロナの影響を受けていないため、収入は増えも減りもしていない。
- ・コロナウイルスの影響で収入は減ったが、外出する機会も減ったため。

（理由別の延べ人数）

- ・生活や収支等に大きな変化がない...126 人
- ・特になし...74 人
- ・その他...6 人

○「やや悪くなっている、悪くなっている」を選択（実人数 209 人）

（主な回答）

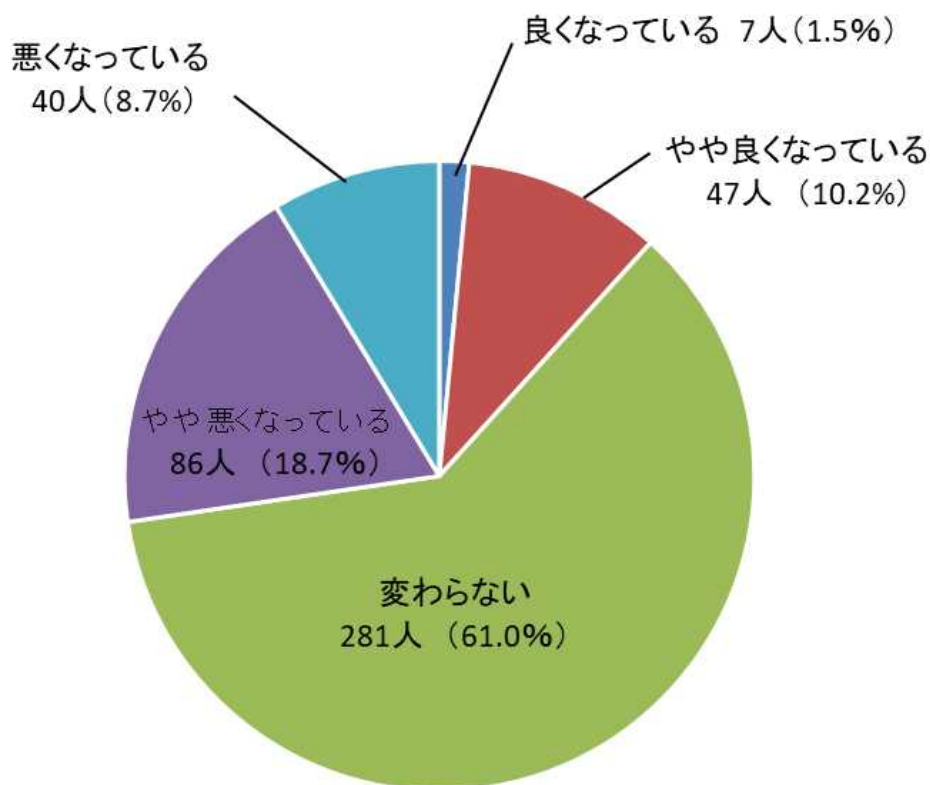
- ・コロナの影響により会社の休みが増えて給与が減少したため。
- ・物価上昇に加え、コロナ禍で在宅勤務・リモート授業等の準備にかなりの金額がかかったため。

（理由別の延べ人数）

- ・収入が減少した...137 人
- ・支出が増加した...35 人
- ・物価が上昇した...32 人
- ・税金・社会保険料等の社会負担増の影響...12 人
- ・その他...17 人

【問3】

現在の家計の状況についてお伺いします。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言下にあった4月から5月頃と比較して、今月の家計の状況は良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。



職業別の回答 整数は人数、()内は職業別の回答数に対する割合						
	回答数	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
自営業	36	0 (0.0%)	5 (13.9%)	14 (38.9%)	9 (25.0%)	8 (22.2%)
会社員	154	5 (3.2%)	7 (4.5%)	95 (61.7%)	29 (18.8%)	18 (11.7%)
団体職員	19	0 (0.0%)	2 (10.5%)	15 (78.9%)	2 (10.5%)	0 (0.0%)
公務員	15	0 (0.0%)	2 (13.3%)	11 (73.3%)	2 (13.3%)	0 (0.0%)
主婦・主夫	111	1 (0.9%)	15 (13.5%)	68 (61.3%)	24 (21.6%)	3 (2.7%)
学生	18	0 (0.0%)	2 (11.1%)	14 (77.8%)	1 (5.6%)	1 (5.6%)
無職	58	0 (0.0%)	7 (12.1%)	34 (58.6%)	12 (20.7%)	5 (8.6%)
その他	50	1 (2.0%)	7 (14.0%)	30 (60.0%)	7 (14.0%)	5 (10.0%)
計	461	7 (1.5%)	47 (10.2%)	281 (61.0%)	86 (18.7%)	40 (8.7%)

【問4】

問3でそのように回答した理由は何ですか。

○「良くなっている、やや良くなっている」を選択（実人数 54 人）

（主な回答）

- ・仕事を増やして収入を増加させた。
- ・緊急事態宣言下は、家族の仕事が減って収入も減ったが、現在は、仕事に影響はなく、家庭全体での収入が少し増えたため。

（理由別の延べ人数）

- ・収入が増加した...26 人
- ・支出が減少した...24 人
- ・その他...4 人

○「変わらない」を選択（実人数 281 人）

（主な回答）

- ・コロナウイルス感染症による影響がほとんどなかった。
- ・物価の変動は感じられず、また給与収入も大きな変動はなかったため。

（理由別の延べ人数）

- ・生活や収支等に大きな変化がない...140 人
- ・コロナによる影響がない...16 人
- ・物価の変動がみられない...5 人
- ・特になし...108 人
- ・その他...13 人

○「やや悪くなっている・悪くなっている」を選択（実人数 126 人）

（主な回答）

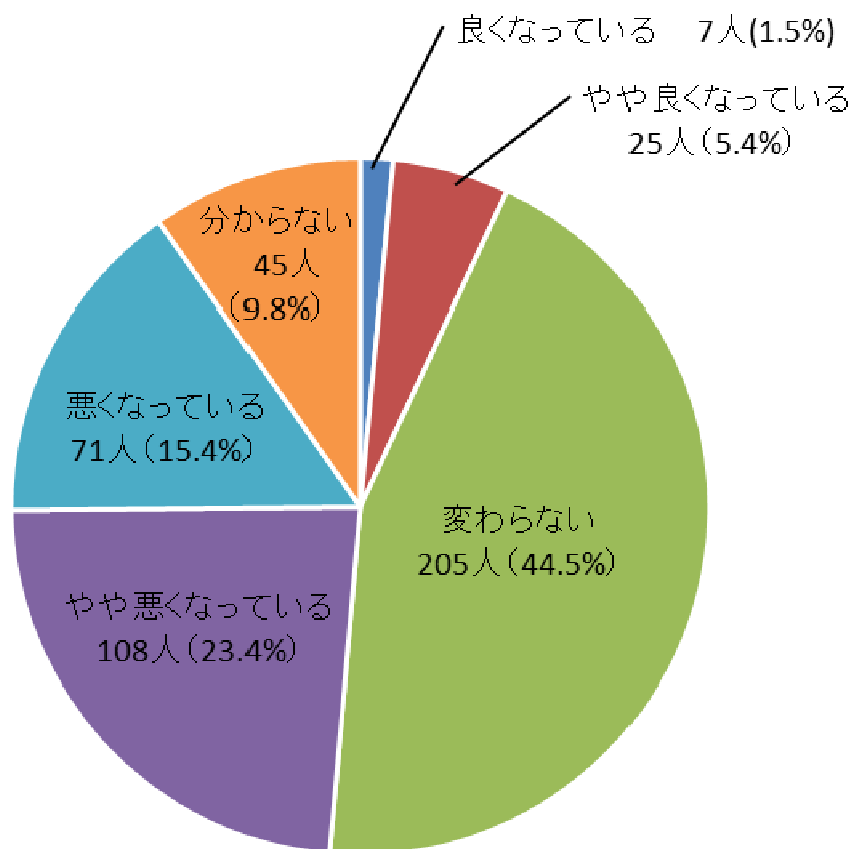
- ・マスク、消毒剤など普段は使わないものにお金を使っているから。
- ・コロナの感染拡大が今も影響していて、仕事があまり入らない状況のため。
- ・給与の削減が顕著になったこと。緊急事態宣言下では外出することもなかったのに出費が抑えられていたが、現状はそうした抑制がなく、出費がかさむ。

（理由別の延べ人数）

- ・収入が減少した...82 人
- ・支出が増加した...28 人
- ・物価が上昇した...17 人
- ・税金・社会保険料等の社会負担増の影響...2 人
- ・特になし...4 人
- ・その他...7 人

【問5】

将来の家計の状況についてお伺いします。今後3か月先の家計の状況は、今月より良くなっていると思いますか。悪くなっていると思いますか。



職業別の回答 整数は人数、()内は職業別の回答数に対する割合							
	回答数	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	分らない
自営業	36	1 (2.8%)	0 (0.0%)	15 (41.7%)	9 (25.0%)	5 (13.9%)	6 (16.7%)
会社員	154	4 (2.6%)	10 (6.5%)	60 (39.0%)	35 (22.7%)	29 (18.8%)	16 (10.4%)
団体職員	19	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (52.6%)	4 (21.1%)	5 (26.3%)	0 (0.0%)
公務員	15	0 (0.0%)	2 (13.3%)	7 (46.7%)	4 (26.7%)	1 (6.7%)	1 (6.7%)
主婦・主夫	111	2 (1.8%)	8 (7.2%)	52 (46.8%)	28 (25.2%)	13 (11.7%)	8 (7.2%)
学生	18	0 (0.0%)	2 (11.1%)	9 (50.0%)	4 (22.2%)	1 (5.6%)	2 (11.1%)
無職	58	0 (0.0%)	2 (3.4%)	35 (60.3%)	10 (17.2%)	8 (13.8%)	3 (5.2%)
その他	50	0 (0.0%)	1 (2.0%)	17 (34.0%)	14 (28.0%)	9 (18.0%)	9 (18.0%)
計	461	7 (1.5%)	25 (5.4%)	205 (44.5%)	108 (23.4%)	71 (15.4%)	45 (9.8%)

【問6】

問5でそのように回答した理由は何ですか。

○「良くなっている、やや良くなっている」を選択（実人数 32 人）

（主な回答）

- ・9月くらいから徐々に仕事が増えてきている。
- ・年末年始の支出が減りそうだと思う。

（理由別の延べ人数）

- ・収入が増える見込み...15人
- ・支出が減る見込み...10人
- ・その他...7人

○「変わらない」を選択（実人数 205 人）

（主な回答）

- ・外出しにくい状況は今後も続くと思われるため、大きく支出が増えることはないと思う。
- ・コロナの影響を受けにくい職業であるため。

（理由別の延べ人数）

- ・現状が続く見込み...119人
- ・コロナによる影響がない...5人
- ・特になし...68人
- ・その他...13人

○「やや悪くなっている、悪くなっている」を選択（実人数 179 人）

（主な回答）

- ・コロナ禍で給料カットが予測できるから。
- ・新型コロナウイルス関連で出費が増えると思われる。

（理由別の延べ人数）

- ・収入が減少する見込み...105人
- ・支出が増加する見込み...33人
- ・物価が上昇すると思われる...13人
- ・税金・社会保険料等の社会負担増の影響...2人
- ・特になし...5人
- ・その他...32人

○「わからない」を選択（実人数 45 人）

- 1 本報告書中の百分率表示は、小数点以下第二位を四捨五入しているため、個々の比率の合計は 100%にならない場合がある。
- 2 問2、4、6の（理由別の延べ人数）について
当該項目の数値は、各回答者の理由を一般化して集計した。また、1つの回答で2つ以上の理由が述べられている場合は、それぞれ計上した。（例：「収入が増加し、支出が減少した。」という理由の場合、「収入が増加した」と「支出が減少した」に1人ずつ計上した。）

3 調査の概要

(1) 調査形態

調査時期：令和2年11月17日(火)～11月30日(月)

調査方法：インターネット(アンケート専用フォームへの入力)による回答

モニター数：648名(県内在住者のみ)

回収率：71.1%(461名)

回答者の属性：以下の通り。ただし、百分率表示は、小数点以下第二位を四捨五入しているため、個々の比率の合計は100%にならない場合がある。

		人数(人)	比率(%)
全体(n)		461	100.0
地域別	県北	49	10.6
	県央	159	34.5
	鹿行	33	7.2
	県南	179	38.8
	県西	41	8.9
性別	男性	205	44.5
	女性	256	55.5
性・年齢別	16～19歳	6	1.3
	20～29歳	36	7.8
	30～39歳	90	19.5
	40～49歳	117	25.4
	50～59歳	107	23.2
	60～69歳	54	11.7
	70歳以上	51	11.1
職業別	自営業	36	7.8
	会社員	154	33.4
	団体職員	19	4.1
	公務員	15	3.3
	主婦・主夫	111	24.1
	学生	18	3.9
	無職	58	12.6
	その他	50	10.8

(2) 担当課

茨城県政策企画部統計課(企画分析グループ)

電話：029-301-2632

E-mail：tokei2@pref.ibaraki.lg.jp